

ルーピンの里だより

ふれあい

2020
上半期

手作りあくまき
新茶とともに…

キラキラ七夕そうめん

三味白玉だんご

上生菓子
「紫陽花」

厳選素材で握り寿司
手作りガリを添えて…

お花見しながら
春の和菓子バイキング

食材にこだわった海鮮どん

フルーツたっぷりクレープ

奄美の
郷土料理

本格的鶏飯

目次 Contents

- 理事長あいさつ 入社式 2面
- 従来型 上半期の様子 3面
- ユニット型 上半期の様子 4面
- デイサービス 上半期の様子 5面
- グループホーム東串良 上半期の様子 6面
- 居宅・在介・訪問事業所より 7面
- インスタグラムはじめました 8面



「ふれあい号」は日本財団からの寄贈車両です。

表紙の案内

表紙の写真は、厨房で作った食事やお菓子です。栄養課では管理栄養士を中心に、手作りにこだわって利用者様の食を支えています。

「見てよし食べてよし！」食が進む料理ばかりです。



RING! RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

ルーピンの里は日本自転車振興会の補助物件です

コロナによる施設の現状について

今年に入り新型コロナ感染症に関するニュースを聞かない日がない程私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。福寿会におきましても施設経営面に大きな影響を与えております。まずは、資材の高騰です。日常的に使用しております「マスク」など衛生用品は中国からの輸入がストップするなどの影響で10倍近い値段まで高騰しました。このことに関しては様々な団体から「利用者様のために使つてください」と寄贈をいただいたり、職員が手作りマスクを作成するなど工夫をしながら取り組んで参りました。

次に、外部の方との接触を控えるいわゆる「三密の回避」です。この事は、職員は基より利用者様の外出や面会などの制限を強いられ、施設で予定していた行事の中止などにより、親しい人や愛する家族と会えない淋しさなど大変な思いをさせてしまふこととなりました。ルーピンの里では大隅半島での感染発生状況を判断しながら8月から制限下ではありますが、月1回のペースで面会ができるように対応してきました。国によるオンライン面会事業も活用し、タブレットの準備を行い、遠方の方が面会できるように取り組みをして参りました。改めて家族との絆の重要性を感じさせられています。今冬はインフルエンザとコロナの対策が求められ施設内でクラスターが発生することがないよう、取れる対策は万全を期して参る所存であります。法人としましても様々な形で情報発信に努めて参りますので皆様のご協力をより一層お願いいたします。

社会福祉法人福寿会 理事長 福留 利郎

令和2年度 社会福祉法人福寿会 入社式

4月1日、入社式が行われました。

令和2年度は、技能実習生を含め5名の新人職員を迎えることになりました。コロナ禍で多くの入学式や入社式などが中止となる中、無事に開催することができました。新入社員は夢や希望を持つて当法人を選択して下さいました。

「地域に根差した、社会福祉の専門家として」行動できるよう、互いに研鑽し頑張っていけたらと思います。

技能実習生



ヴォーティ ハインさん ゲエンティ フォンさん



新入社員紹介



花岡 葵さん



上野 愛由美さん



直 麗弥さん



従来型

上半期の様子



4月から、毎週日曜午後よりレクリエーションを行っています。棒体操や輪投げ等、日常生活あまり動かさない身体の部分が刺激されるように工夫しています。

利用者様からは笑顔がみられ、楽しんでいらっしゃるようです。これからも、利用者様が楽しく活動できるように、笑顔を引き出せるレクリエーションを計画していきたいと思います。

レクリエーション

敬老会

9月19日、施設内にて敬老会が行われました。当法人の最高齢者は103歳以上が3人いらっしゃいました。代表で新90歳の牧内様が表彰されました。例年であれば、ご家族の参加もあるところですが、新型コロナウイルスの感染拡大予防として、職員・利用者様のみの参加となりました。利用者様に変装した職員が司会を務め会場を盛り上げてくれました。短い時間ではありましたが、充実した時間となりました。



日本での生活が始まつて

技能実習生として、勤務しているハインさん、フォンさん。ベトナムから来日し、もうすぐ1年が経とうとしています。4月の頃は、日本語に苦戦しているようでしたが、半年が経過し利用者様に対する声掛け、職員とのやり取りもだいぶスマーズになっていました。勉強熱心で、分からぬことがあれば直ぐに確認する姿勢を見て、自分たちの仕事に対する姿勢を考えさせられます。仕事に対してはインプットが多いですが、伝えること(アウトプット)すること自身も理解を深めていけたらと思います。私達も技能実習生の熱意に負けないようにしたいと思います。



ユニット型 上半期の様子

作業療法として、色塗りや洗濯物たたみなどを動かすことを大事にしています。細かい動作は脳を活性化し認知症予防にも役立っています。

手を動かすこととで脳の活性化



今年の夏は、鉢植えでナス・ミニトマトの栽培を行いました。花が咲き・実に色がつくと収穫が待ち遠しくなるものであります。ミニトマトは豊作で食べきれないほど実をつけてくれました。



野菜の収穫を楽しむ



家庭料理を楽しんで頂こうと、ホットプレートを使用した料理を定期的に行っています。今回は「やきそば」を作りました。目の前で匂いや炒める音などがすると利用者様も興味深々です。普段よりたくさん食べて下さいました。

家庭料理



5月10日は母の日でお祝いを行いました。コロナの影響により、今年は家族に代わって職員がおもてなし。「お母さんいつもありがとうございます」といいます

お母さんありがとう



誕生日会



もう一杯

2丁目

ペットボトルのキャップを使用した数字並べが利用者様に人気です。数字を探すのが意外と難しいです。

職員手作りの数字並べゲーム



音楽好きのAさんは、楽器を演奏するのも大好きです。職員と一緒に楽しい時間を過ごしていました。



好きなことを楽しむ



夏の果物と言えば…「すいか」です。レクリエーションの一環ですか割りを行いました。「切って食べたい」との意見もありましたが…。すいかが割れると皆さん大喜びでした。

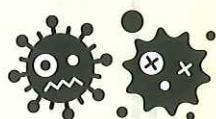
スイカ割り



3丁目

デイサービス 上半期の様子

*仕切り版は職員の手作りです。焼き目をつけたことで、少し高級感がでました。直ぐに外せるようになっており、売り物でもおかしくないくらいの出来栄えです。



日本で新型コロナウイルスが流行し半年が経過しました。まさか鹿児島でも流行するなど当初は思ってもいませんでした。新しい生活様式を取り入れながら試行錯誤を繰り返し、感染者が出ることなく運営出来ています。これもひとえに、「利用者様・ご家族様の協力」あってのことと感謝しております。長期戦になると思われますが、今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

★コロナ対策として、スクール形式を導入し、飛沫予防に努めています。

コロナに負けない！



マスクのプリーツを上向きにつけてしまうと菌や花粉が折り目に溜まってしまいます。
プリーツは必ず下向きに。

ワンポイント講座（マスクの正しい付け方）



新型コロナウイルスが流行し、春先はマスクが品薄となりました。使い捨てはもちろん、布マスクも手に入りにくい状況が続きました。そのような状況の中、園長と職員が協力し布製マスクを制作し、利用者様にプレゼントしました。

利用者様に手作りマスク配布



敬老の日プレゼント



厨房職員が腕を振ります



理事長からのサプライズ



喜んでいただけるように一生懸命練習しました

9月14日から19日、「敬老の日」週間としてブチ敬老会を実施しました。例年であれば盛大に行うところですが、小規模での開催となりました。「例年よりも喜んでもらおう」をスローガンに職員が余興の練習に取り組むなどを本番に向けて準備を進めました。調理場からは、お祝い膳が提供され見て良し、食べて良しの昼食時間となりました。余興は、「フラダンス」を披露しました。Tシャツを揃えるなど準備は万全。男性スタッフも女性に負けない滑らかな動きでした。

デイサービス敬老会

グループホーム東串良 上半期の様子

8/24

夕涼み会



新型コロナの影響により例年開催していた桜祭りや一日遠足などの行事が中止になり、なかなか外出の機会に恵まれない利用者様に夏祭り気分を味わって頂こうと夕涼み会を計画しました。

ウッドデッキに提灯などの飾りつけを行い、

焼きそばや焼き鳥などを目の前で焼いて、スイカやラムネなどを用意して夏祭りのような雰囲気を楽しんで頂きました。

9/19

敬老会



例年は利用者様の御家族もお呼びして大人数で行われる敬老会ですが今年は利用者様と職員のみの少人数で行いました。

オープニングでは理事長の三味線に合わせて皆さんで歌ったり、来年に百歳を迎える方のお祝いをしたり、家族会からの記念品の贈呈式を行いました。

食事の時間になり、お刺身や赤飯など普段とは違う料理に皆さんとても喜ばれていました。



シャープのイオンを発生させる独自技術「プラズマクラスター」が新型コロナウイルス抑制に効果があるとの実験結果を発表した。

と日経新聞(9/7)で紹介されました。当法人では、以前からプラズマクラスターを搭載した加湿空気清浄機の導入を行ってきた為、朗報となりました(^^)/

効果に期待しながら今後も感染症対策として導入を進めていきたいと思います。

グループホーム東串良では感染症予防の為、次の様な取り組みを行っています。

- ★職員と利用者様は9時と15時に1日2回の体温測定。
- ★業務前の手洗いうがい、手指消毒マスク、フェイスシールドの着用
- ★1日4回部屋全体の換気。
- ★9月より空気清浄機を購入し利用者様の各居室に設置し稼働させています。

感染症予防のための取り組み

居宅介護支援事業所より

今回は、コロナ渦における「新しい生活様式」について、情報を届けします。

日常生活の各場面別の生活様式

(買物)

- 通販も利用
- 1人または少人数で空いた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなどの展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶ時は、前後にスペース

(娯楽、スポーツ等)

- 公園は空いた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人ととの間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違う時は距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

(イベント等への参加)

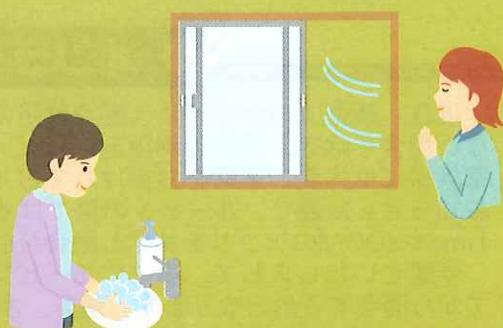
- 接触確認アプリを活用する
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(公共機関の利用)

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯を避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

(食事)

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて



在宅介護支援センターより

フレイルについて（健常から要介護へ移行する中間の段階と言われています）

フレイルとは、加齢に伴い筋肉が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般をさしています。

フレイルを予防するには

生活習慣病の（進行）予防しながら、運動機能・認知機能の低下を防ぎ、社会的に関わりを保ち続けることが大切です。
まず持病のコントロール・感染症の予防・日常生活に運動・バランスのとれた食事・口腔、嚥下機能を保つことが重要です。身体面だけでなく、日常生活のすべてが健康に関わるものと捉えることが必要です。

「新しい買い物様式」
7月1日よりレジ袋の有料化がスタートしました。
敬老の日プレゼントとして
今年は買い物で使用できる
「エコバック」を選びました。



「手作りマスクで感染予防」
5月（母の日）、6月（父の日）に手作りマスクをプレゼントしました。
利用者様に好評でした。



訪問介護事業所より

インスタグラムの
投稿を
紹介します(^^)



ルーピンの里も開園から25年になりました。開園当初の施設紹介といえば、パンフレットや広報誌が中心でした。時代の流れに乗っていけるように、ホームページだけでなくSNSにおいても法人の取り組みを紹介していきたいと思います。いいね！を頂けるように頑張ります。

オンライン面会のご案内

現在、新型コロナウイルス感染経路の遮断という観点から、緊急やむを得ない場合を除き、面会の制限をいただいているところです。御利用者様・御家族様には大変ご迷惑をお掛けしております。さて、ホームページ、書面でお知らせした通り、ルーピンの里ではオンライン面会を行っています。Face TimeやZOOMのアプリを利用し面会可能です。

手順といたしまして、事前にルーピンの里に連絡を頂き、日程調整を行ってから面会する形となります。是非、オンライン面会をご利用下さい。



編集後記

2020年上半期号いかがだったでしょうか？

新型コロナウイルスの影響により予定していた桜祭りなどの行事が中止、敬老会など縮小となる事態となりました。終息するまでには年単位の時間がかかりそうですが、新しい生活様式を取り入れ、職員が知恵を出し合い「今できること」を模索しながらこの局面を乗り切っていけたらと思います。日々の活動の様子はホームページやインスタグラムで確認できます。是非ご覧ください。

広報委員長 下片野

福寿会の事業所

- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護事業
- 通所介護事業
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- グループホームるーぴんのさと
- 東串良町在宅介護支援線センター

広報誌「ふれあい」はホームページでもご覧になれます。 <http://ru-pin.jp>